



証券コード 5603

第 115 期  
報 告 書

（ 2019年 4 月 1 日から  
2020年 3 月31日まで ）

虹技 株式会社

## 株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜りまして、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第115期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)決算を終えましたので、事業の概況および決算の結果をご報告申し上げます。



## 事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、年度前半は内需が寄与して緩やかな回復基調が続きましたが、米中貿易摩擦による中国景気減速などの外部環境の悪化により、製造業を中心に景況が悪化し、2020年2月以降の世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大とその拡大防止対策による景気の押し下げで、先行きの不透明感が一層強まる状況となりました。

このような状況のもとで当社グループは、2019年度を初年度とする第6次3カ年計画を策定し、既存事業の収益構造の改革や新たな分野の開拓、新しい製品の開発、財務体質の更なる強化などの取組みを全社一丸となって進めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、中国景気減速などの外部環境悪化の影響を受け、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の製造販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司および南通虹岡鋳鋼有限公司の業績が低迷し、国内においても連続鋳造鋳鉄棒のデンスパーの売上が回復せず、加えて投資有価証券評価損による特別損失の計上もあり、売上高212億5千9百万円(前期 240億1千3百万円)、営業利益5億3千9百万円(前期 12億8千4百万円)、経常利益3億7千2百万円(前期 13億円)、親会社株主に帰属する当期純利益1億2百万円(前期 7億3千4百万円)となりました。

事業別の概況は、次のとおりであります。

### ① 鋳物関連事業

鋳型は、エネルギー関連、造船関連、自動車関連などの外部環境の悪化により、鍛造鋼塊用鋳型、特殊鋼用鋳型ともに需要が低調で、売上高は、前期を下回りました。ロールは、H形鋼用水平ロールの新規受注や特殊鋼棒線用ロール、パイプ用ロールの受注増により、売上高は、前期を上回りました。自動車用プレス金型鋳物は、新車開発の計画見直しや凍結が相次ぎ、売上高は、前期を下

回りました。大型産業機械用鋳物は、工作機械業界が減産傾向にある中、電気自動車の部品用プレス機向け鋳物の受注増により、売上高は、前期を上回りました。小型鋳物は、下水道鉄蓋の新規開拓や電線共同溝用鉄蓋の受注拡大により、売上高は、前期を上回りました。デンスバーは、建設機械関連向けの減速を受け、売上高は、前期を下回りました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、中国経済の減速や競合の激化、原材料のスクラップ価格の高止まりなどにより、売上高、損益とも前期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、174億8百万円(前期 197億2千5百万円)、経常利益は、2億6千9百万円(前期 10億2千4百万円)となりました。

## ② 機械関連事業

送風機は、環境関連の大口案件があり、売上高は、前期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、鉄鋼業界の落ち込みによる鉄鋼関連向け大口案件の減少や、半導体市場の悪化による半導体関連向けの需要減により、売上高は、前期を下回りました。KCカーボンセラミックスは、半導体市場の悪化により液晶パネル設備向けのベアリング関連需要が低迷し、売上高は、前期を下回りました。KCメタルファイバーは、自動車産業の低迷により自動車用摩擦材の需要が減少し、売上高は、前期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、22億1百万円(前期 23億円)、経常利益は、1億9千6百万円(前期 2億1千5百万円)となりました。

## ③ 環境関連事業

環境装置事業は、大口案件やメンテナンス工場の受注件数が減少し、売上高は、前期を下回り、当事業の売上高は、16億5千万円(前期 19億8千7百万円)、経常利益は、2億2千1百万円(前期 2億5千2百万円)となりました。

期末配当金につきましては、業績その他諸般の事情を勘案いたしまして、1株当たり50円とさせていただきます。

## (設備投資の状況)

当連結会計年度中において実施しました設備投資額は総額で13億6千2百万円となりました。

当連結会計年度中に完成した設備、継続中の設備で特記すべきものはありません。

## (資金調達の状況)

当連結会計年度中の設備資金および運転資金につきましては、自己資金と借入金をもって充ちました。

## (対処すべき課題)

素形材を主力とする当社グループの経営環境は、国内鋳物事業市場の成熟化が進むなか、競合の激化、事業環境の急激な変化など、依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

また、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がけている海外子会社は、米中貿易摩擦の影響による中国経済の減速懸念も残り、依然として不安定な状況が続くものと予想されます。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大による世界経済への影響が懸念され、先行きが不透明な状況にあり、現時点では合理的な業績予想の算出が困難な状況にあります。

こうしたなか、当社グループの一人ひとりが同じベクトルのもと一丸となつて、企業の継続的發展を図るため、『誇り』をキーワードとした「第6次3カ年計画」に基づき、以下のような取組みを進めております。

### ① 社会に誇れる企業を目指して

#### イ. コンプライアンスを重視した経営活動の遂行

社会に誇れる企業として安全を最優先とし、法令を遵守した経営活動を行う。あわせて環境・安全面に配慮した設備改善等を継続的に進めていく。

#### ロ. 誇れる商品、誇れるサービスをお客様に

お客様にとってより良い商品・サービスを提供するとともに、その信頼に応えるため、品質管理体制の更なる充実を図る。

### ② 従業員一人ひとりが輝き誇れる企業に

#### イ. 風土改革活動の継続

従業員一人ひとりが、虹技で働くことを誇りに思う一体感のある風土作りを進めていく。

ロ. 人材の育成

虹技社員として、誇りをもって行動するべく人材教育に注力する。

③ 誇れる未来を創造するために

イ. 既存事業の収益構造の改革

全ての事業において将来性を見極め、ビジネスプロセス変革による生産性の向上等、取り組むべき課題の明確化を行い、より収益をあげるべく収益構造の改革を実施する。

ロ. 新たな分野、製品への取組み

既存事業の充実に加え、たえず新しい分野の開拓、新しい製品の開発に取り組む、世に出すことによって社会の発展に貢献する。

ハ. 財務体質の更なる強化

経営環境の波に対して抵抗力のある財務体質を構築する。

こうした企業体質の強化に向けた活動をグループの総力を挙げて推し進め、より一層の企業価値の増大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 山本幹雄

主要な事業内容 (2020年3月31日現在)

事業区分	事業の内容
鋳物関連事業	鉄鋼圧延用ロール・鋼塊用鋳型・自動車用金型鋳物・デンスバー(連続鋳造鋳物材)・一般鋳物製品等の製造および販売
機械関連事業	機械製品等の製造および販売・ソーラー発電
環境関連事業	環境関連装置・機器等の製造および販売 土木・建設工事の請負

セグメント別売上高 (2020年3月31日現在)

区分	金額	構成比
鋳物関連事業	17,408 百万円	81.9 %
機械関連事業	2,201	10.3
環境関連事業	1,650	7.8
合計	21,259	100.0

財産および損益の状況の推移

区分	第112期 (2017年3月期)	第113期 (2018年3月期)	第114期 (2019年3月期)	第115期 (当連結会計年度 (2020年3月期))
売上高 (百万円)	19,772	22,942	24,013	21,259
経常利益 (百万円)	1,822	1,336	1,300	372
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	370	657	734	102
1株当たり当期純利益 (円)	112.17	198.64	221.52	30.79
総資産 (百万円)	23,970	29,256	28,563	26,720
純資産 (百万円)	11,545	12,718	12,955	12,466
1株当たり純資産額 (円)	2,852.40	3,047.46	3,139.89	3,047.91

(注) 1. 1株当たり当期純利益は、自己株式を控除した期中平均発行済株式総数により、1株当たり純資産額は、自己株式を控除した期末発行済株式総数により算出しております。  
2. 2017年10月1日付で普通株式10株を1株とする株式併合を実施しております。第112期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産額を算定しております。  
3. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第114期の期首から適用しており、第113期の総資産の金額については、当該会計基準等を遡って適用した後の金額となっております。

## 株式の状況 (2020年3月31日現在)

- ① 発行可能株式総数 8,000,000 株
- ② 発行済株式の総数 3,362,163 株 (自己株式47,809株を含む)
- ③ 株主数 2,614 名
- ④ 大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
住友生命保険相互会社	190 千株	5.7 %
虹技取引先持株会	163	4.9
株式会社三井住友銀行	148	4.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	138	4.2
株式会社りそな銀行	105	3.2
株式会社神戸製鋼所	81	2.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	79	2.4
株式会社三菱UFJ銀行	70	2.1
三井住友信託銀行株式会社	60	1.8
虹技社員持株会	57	1.7

(注) 持株比率は自己株式 (47,809株) を控除して計算しております。

## ⑤ 新株予約権等に関する事項

- 1) 当事業年度末日に当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権等の状況  
該当事項はありません。
- 2) 当事業年度中に職務執行の対価として使用人等に対して交付された新株予約権等の状況  
該当事項はありません。
- 3) その他新株予約権等に関する重要な事項  
該当事項はありません。

## ⑥ 株主構成

区分		株主数(名)	率(%)	株式数(株)	率(%)
所有者別	政府及び地方公共団体	0	0.000	0	0.000
	金融機関	29	1.109	1,065,600	31.694
	証券会社	27	1.033	65,072	1.935
	その他国内法人	98	3.749	521,062	15.498
	外国人	22	0.842	29,721	0.884
	個人・その他	2,437	93.229	1,632,899	48.567
	自己名義株式	1	0.038	47,809	1.422
合計		2,614	100.000	3,362,163	100.000
地域別	北海道地方	18	0.689	6,527	0.194
	東北地方	39	1.492	15,315	0.456
	関東地方	650	24.866	1,464,890	43.570
	中部地方	325	12.433	138,922	4.132
	近畿地方	1,123	42.961	1,412,996	42.026
	中国地方	224	8.569	154,398	4.592
	四国地方	85	3.252	49,416	1.470
	九州・沖縄地方	128	4.897	45,169	1.343
	国外	21	0.803	26,721	0.795
自己名義株式	1	0.038	47,809	1.422	
合計		2,614	100.000	3,362,163	100.000

主要な借入先の状況 (2020年3月31日現在)

借入先	借入金残高
株式会社三井住友銀行	3,278 百万円
株式会社りそな銀行	744
株式会社三菱UFJ銀行	1,502

子会社の状況 (2020年3月31日現在)

会社名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
虹技サービス株式会社	10 百万円	100 %	サービス業
南通虹岡鋳鋼有限公司	1,642 (1,500万US\$)	51	金属製品の製造販売
天津虹岡鋳鋼有限公司	871 (800万US\$)	51	金属製品の製造販売

(注) 記載の金額および株式数は、表示単位未満の端数を切り捨てております。  
比率その他の数字は、表示の数値未満を四捨五入しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	前連結会計年度 (2019年3月31日現在)	当連結会計年度 (2020年3月31日現在)		前連結会計年度 (2019年3月31日現在)	当連結会計年度 (2020年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	16,502	15,337	流動負債	11,325	10,770
現金及び預金	1,892	2,118	支払手形及び買掛金	4,377	3,588
受取手形及び売掛金	9,076	8,177	短期借入金	4,040	4,681
電子記録債権	1,979	1,443	未払金	1,844	1,783
商品及び製品	1,129	1,161	未払法人税等	264	23
仕掛品	1,244	1,202	賞与引当金	300	277
原材料及び貯蔵品	826	928	その他	496	417
その他	410	396	固定負債	4,283	3,483
貸倒引当金	△ 56	△ 90	長期借入金	3,908	2,971
固定資産	12,060	11,382	繰延税金負債	175	139
有形固定資産	9,574	9,464	未払役員退職慰労金	9	—
建物及び構築物	2,916	2,916	退職給付に係る負債	174	351
機械装置及び運搬具	4,155	3,975	その他	14	21
工具、器具及び備品	1,001	1,055	負債合計	15,608	14,254
土地	1,220	1,220	(純資産の部)		
建設仮勘定	281	295	株主資本	9,826	9,763
無形固定資産	230	218	資本金	2,002	2,002
投資その他の資産	2,255	1,699	資本剰余金	602	602
投資有価証券	2,086	1,567	利益剰余金	7,277	7,213
長期貸付金	1	0	自己株式	△ 55	△ 55
退職給付に係る資産	82	—	その他の包括利益累計額	580	338
その他	85	130	その他有価証券評価差額金	500	383
貸倒引当金	△ 0	△ 0	繰延ヘッジ損益	△ 5	△ 1
			為替換算調整勘定	155	77
			退職給付に係る調整累計額	△ 70	△ 120
			非支配株主持分	2,547	2,364
			純資産合計	12,955	12,466
資産合計	28,563	26,720	負債純資産合計	28,563	26,720

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前連結会計年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)		当連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	
売上高			24,013		21,259
売上原価			19,940		17,998
売上総利益			4,073		3,261
販売費及び一般管理費			2,788		2,722
営業利益			1,284		539
営業外収益					
受取利息		0		0	
受取配当金		52		46	
その他		242	295	62	110
営業外費用					
支払利息		156		135	
その他		123	279	141	276
特別利益			1,300		372
投資有価証券売却益		—		33	
国庫補助金		3	3	4	37
特別損失					
投資有価証券評価損		36		312	
固定資産圧縮損		3	40	4	316
税金等調整前当期純利益			1,264		94
法人税、住民税及び事業税		358		38	
法人税等調整額		23	382	61	100
当期純利益又は 当期純損失(△)			882		△6
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)			147		△108
親会社株主に帰属する当期純利益			734		102

連結株主資本等変動計算書

(2019年4月1日から  
2020年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2019年4月1日残高	2,002	602	7,277	△55	9,826
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△165		△165
親会社株主に 帰属する当期純利益			102		102
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△63	△0	△63
2020年3月31日残高	2,002	602	7,213	△55	9,763

	その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
2019年4月1日残高	500	△5	155	△70	580	2,547	12,955
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当							△165
親会社株主に 帰属する当期純利益							102
自己株式の取得							△0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	△117	3	△77	△49	△241	△183	△424
連結会計年度中の変動額合計	△117	3	△77	△49	△241	△183	△488
2020年3月31日残高	383	△1	77	△120	338	2,364	12,466

(連結株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 発行済株式の総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	当連結会計年度 増加株式数	当連結会計年度 減少株式数	当連結会計年度末
普通株式(株)	3,362,163	—	—	3,362,163

2. 自己株式の総数に関する事項

株式の種類	当連結会計年度期首	当連結会計年度 増加株式数	当連結会計年度 減少株式数	当連結会計年度末
普通株式(株)	47,700	109	—	47,809

(注) 普通株式の自己株式数の増加109株の内訳は次のとおりであります。

単元未満株式の買取請求による増加 109株

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額等

決議	株式の 種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	165,723,150円	50円	2019年 3月31日	2019年 6月27日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議予定	株式の 種類	配当の原資	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2020年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	165,717,700円	50円	2020年 3月31日	2020年 6月26日

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	期 別	前連結会計年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	当連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,179	2,173
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,461	△ 1,395
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 683	△ 547
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 22	△ 5
現金及び現金同等物の増減額		11	225
現金及び現金同等物の期首残高		1,871	1,882
現金及び現金同等物の期末残高		1,882	2,108

(連結キャッシュ・フロー計算書の概要)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益9千4百万円、減価償却費13億6千6百万円、売上債権の減少13億7百万円による資金の増加と仕入債務の減少7億4千3百万円による資金の減少等により、21億7千3百万円の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出14億4千1百万円による資金の減少等により、13億9千5百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金による収入33億1千6百万円、短期借入金の純増加額18億2千4百万円による資金の増加と長期借入金の返済による支出53億6千5百万円、配当金の支払1億6千5百万円による資金の減少等により、5億4千7百万円の減少となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ2億2千5百万円増加し、21億8百万円となりました。

(注) 連結財務諸表の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てております。



貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別		科目	期別	
	前事業年度 (2019年3月31日現在)	当事業年度 (2020年3月31日現在)		前事業年度 (2019年3月31日現在)	当事業年度 (2020年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	11,619	11,068	流動負債	9,210	8,896
現金及び預金	1,729	1,881	支払手形	1,330	1,009
受取手形	573	517	買掛金	2,541	2,186
電子記録債権	1,377	1,214	短期借入金	2,739	3,405
売掛金	4,940	4,321	未払金	1,206	1,209
商品及び製品	1,129	1,161	未払法人税等	264	23
仕掛品	1,098	1,024	未払消費税等	130	72
原材料及び貯蔵品	588	708	未払費用	178	178
前払費用	13	60	賞与引当金	240	204
その他	169	178	設備関係未払金	552	590
貸倒引当金	△ 1	△ 1	その他	25	16
固定資産	9,889	9,425	固定負債	3,047	2,433
有形固定資産	6,236	6,425	長期借入金	2,745	2,125
建物	1,098	1,183	繰延税金負債	104	105
構築物	350	389	退職給付引当金	173	181
機械及び装置	2,630	2,652	未払役員退職慰労金	9	—
車両運搬具	20	28	その他	14	21
工具、器具及び備品	711	734	負債合計	12,258	11,329
土地	1,220	1,220	(純資産の部)		
建設仮勘定	204	216	株主資本	8,755	8,781
無形固定資産	6	6	資本金	2,002	2,002
ソフトウェア	4	4	資本剰余金	602	602
その他	1	1	資本準備金	602	602
投資その他の資産	3,646	2,993	利益剰余金	6,205	6,232
投資有価証券	2,085	1,567	利益準備金	375	375
関係会社株式	1,292	1,292	その他利益剰余金	5,830	5,857
長期貸付金	1	0	配当平均積立金	68	68
前払年金費用	182	2	別途積立金	578	578
その他	85	130	繰越利益剰余金	5,184	5,210
貸倒引当金	△ 0	△ 0	自己株式	△ 55	△ 55
			評価・換算差額等	495	382
			その他有価証券評価差額金	500	383
			繰延ヘッジ損益	△ 5	△ 1
			純資産合計	9,250	9,163
資産合計	21,509	20,493	負債純資産合計	21,509	20,493

損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別		期別	
	前事業年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	前事業年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	当事業年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)	当事業年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)
売上高		17,470		16,535
売上原価		14,673		13,920
売上総利益		2,797		2,615
販売費及び一般管理費		1,904		1,992
営業利益		892		622
営業外収益				
受取利息	0		0	
受取配当金	83		46	
その他	117	200	53	100
営業外費用				
支払利息	46		38	
その他	79	126	97	135
経常利益		966		586
特別利益				
投資有価証券売却益	—		33	
国庫補助金	3	3	4	37
特別損失				
投資有価証券評価損	36		312	
固定資産圧縮損	3	40	4	316
税引前当期純利益		930		308
法人税、住民税及び事業税	299		38	
法人税等調整額	11	310	77	115
当期純利益		620		192

## 株主資本等変動計算書

(2019年4月1日から  
2020年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金		利益剰余金					自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
					配当平均積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
2019年4月1日残高	2,002	602	602	375	68	578	5,184	6,205	△55	8,755
事業年度中の変動額										
剰余金の配当							△165	△165		△165
当期純利益							192	192		192
自己株式の取得									△0	△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	26	26	△0	26
2020年3月31日残高	2,002	602	602	375	68	578	5,210	6,232	△55	8,781

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
2019年4月1日残高	500	△5	495	9,250
事業年度中の変動額				
剰余金の配当				△165
当期純利益				192
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△117	3	△113	△113
事業年度中の変動額合計	△117	3	△113	△87
2020年3月31日残高	383	△1	382	9,163

## 会社概要

英文社名 KOGI CORPORATION  
 創業 1916年(大正5年)12月21日  
 設立 1940年(昭和15年)6月11日  
 資本金 20億271万4,707円  
 従業員数 452名(連結763名)

### 事業所

本社 〒671-1132 姫路市大津区勘兵衛町4丁目1  
 TEL 079-236-3221  
 東京支社 〒108-0014 東京都港区芝5丁目31-19  
 ラウンドクロス田町7階  
 TEL 03-6436-0261  
 名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目18-10  
 丸の内アネクスビル  
 TEL 052-231-3262  
 北陸営業所 〒920-0027 金沢市駅西新町2丁目8-23  
 TEL 076-260-5501  
 北九州営業所 〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目8-4  
 KMMビル西館  
 TEL 093-551-7881  
 姫路東工場 〒671-1132 姫路市大津区勘兵衛町3丁目12  
 TEL 079-236-3221  
 姫路西工場 〒671-1133 姫路市大津区吉美403  
 TEL 079-272-1301

### 連結対象会社

虹技サービス株式会社  
 天津虹岡鑄鋼有限公司(中国 天津市)  
 南通虹岡鑄鋼有限公司(中国 江蘇省南通市)

(注) 財務諸表の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てております。

## 商品構成のご案内

- **鋳物関連事業**
  - 大型鋳物部門  
自動車用プレス金型鋳物、  
大型産業機械用鋳物（工作機械・射出成形機・製紙機械、他）、  
鋼塊用鋳型、定盤
  - ロール部門  
各種鉄鋼圧延用ロール、  
非鉄用ロール（ゴム・製紙・製油、他）、ラム
  - 小型鋳物部門  
公共土木用鋳物  
（グラウンドマンホール・雨水枘蓋・グレーチング・  
電線共同溝用鉄蓋・化粧蓋、他）  
産業用鋳物  
（上下水道関連部品・鉄道関連部品・産業機械関連部品）
  - デンスバー部門  
連続鋳造鋳鉄棒  
（材質＝普通鋳鉄、ダクタイル鋳鉄、ニレジスト鋳鉄、特殊合金鋳鉄）  
（形状＝丸、角、平角、半丸、各種異形）
- **機械関連事業**
  - 機械部門  
KC送風機（シロッコ・ターボ・プレート・多段ブロワ・  
消音装置、他）、トランスベクター、ボルテックスクーラー、  
超低温空気発生装置、油とりっ子（浮上油分離回収装置）
  - 機能材料部門  
KCメタルファイバー（金属短繊維）、  
KCカーボンセラミックス（高温耐熱素材）  
特殊連続鋳造棒
- **環境関連事業**
  - 環境装置部門  
ストーカ式ごみ焼却炉、リサイクル設備、  
HAS（過熱水蒸気応用乾燥・炭化装置）、  
廃プラント基板処理設備


## 役員 (2020年6月25日現在)

取締役社長 (代表取締役)	山本 幹雄
常務取締役	〔 経理部長および総務部、人事部、経営企画部、 環境安全管理部、防災管理室、 情報システムグループ担当 〕
取締役 (海外事業部長)	
取締役	〔 資材部、技術部、機械事業部、環境装置事業部、 ソーラー事業グループ担当 〕
取締役	〔 デンスバー事業部、機能材料部、 開発部担当 〕
社外取締役(常勤監査等委員)	片桐 康晴
社外取締役(監査等委員)	日置 善弘
社外取締役(監査等委員)	鈴木 克明
社外取締役(監査等委員)	松山 康二

## 執行役員 (2020年6月25日現在)

執行役員 (人事部長兼環境安全管理部長)	井上 文男
執行役員 (小型鋳物事業部長)	萩野 豊明
執行役員 (大型鋳物事業部長)	稲毛 宏二
執行役員 (機械事業部長兼環境装置事業部長)	梶野 正則

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
証券コード	5603
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031
(インターネット ホームページURL)	<a href="https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
<b>【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】</b>	
	証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができません ので、取引証券会社へご照会ください。 証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。
公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載します。 <a href="http://www.kogi.co.jp/">http://www.kogi.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所

## 虹技株式会社

〒671-1132 姫路市大津区勤兵衛町4丁目1番地  
TEL 079-236-3221

**IKOGI** 虹技株式会社

UD  
FONT

VEGETABLE  
OIL INK

ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC  
www.fsc.jp FSC® C011373